

1 現状と方針

今年度は新たな試みとして連絡帳アプリの導入をしました。保護者のみなさまには登録などの手間をお掛けしたり、職員の不慣れさでご迷惑をお掛けした場面もありましたが、少しずつ使い慣れ、導入を喜ぶ声も聞かれました。また感染症予防をしながら行事や保育の見直しを行い、こどもたちの安全を確保しながら楽しく過ごせるような工夫をすることが出来、どの行事も計画通り進めることが出来ました。保護者支援では保育者一人一人が保護者の方に寄り添い丁寧な対応とおこさまの成長のお手伝いや保護者の方との共感を大切にしたい関りが出来たと思います。さらに来年度の開園15周年に向けての様々な計画を綿密に立て保護者の方からのご協力と理解を頂きながら、来年度の楽しみとしていきたいです。そして、今後もより良い保育を目指していきます。

園長 平松 珠子

今年度のテーマ 「 たからばこ 」

ゆめのつぼみのたからばこの中には
大切なこどもたちの笑顔
保護者のみなさまの願い
近隣の方々の思い
そして
夢のつぼみの職員の心
が沢山入っています。
2025年度も 1つでも多くの
きらきらした笑顔 願い 思い そして心を
宝箱に入れられる 1年にしたいと思います。

毎日の保育や行事にテーマを重視した活動を行う事が出来ました。

2 事業者の運営主体

事業者の名称	特定非営利活動法人 全国子育て支援ネットワーク協会
事業者の所在地	旭区東希望が丘240-4
電話番号・(FAX)	045-369-7555 (7556)
代表者氏名	古谷 敬
定款の目的に定めた事業	保育施設の運営

3 施設の概要

種別	認可保育所
名称	夢のつぼみ保育園
所在地	旭区東希望が丘240-4
電話番号・(FAX)	045-369-7555 (7556)
施設長氏名	平松 珠子
開設年月日	平成23年4月1日

利 用 定 員 （ 年 齢 別 ）	0 歳 児	1 歳 児	2 歳 児	3 歳 児	4 歳 児	5 歳 児
	3 人	8 人	9 人	1 0 人	1 0 人	1 0 人
取 扱 う 保 育 事 業	通常保育、一時保育、延長保育					

4 施設・設備の概要

園舎平面図 ※別紙参照

敷地面積		3 6 3.2 6 m ²	
園 舎	構 造	木造 2階建て	
	延 床 面 積	2 4 2.2 1 m ²	
施 設 設 備 の 数 と 面 積	乳 児 室	1 室	3 9.6 1 m ²
	保 育 室	1 室	9 2.0 8 m ²
	調 理 室	1 室	1 8.9 0 9 4 m ²
	幼児用トイレ	1 か所	1 6.8 9 5 8 m ²
	事務室・医務室	1 室	7.5 8 3 3 m ²
	職 員 室	1 室	7.6 5 9 9 m ²
設 備 の 種 類		冷暖房など 屋外遊戯場（敷地内の園庭） 8 1.4 2 1 1 m ²	

5 ＊保育理念

- ・ひとりひとりの気持ちを大切にし、個性を伸ばす
- ・心身共に健やかに、生きる力を育てる

＊保育目標

- ・自分の思いを素直に表現してのびのびと遊ぶ子
- ・心も体も生き生きと元気な子
- ・思いやりがあり、温かい気持ちを持つ子

＊保育方針

- （１）さまざまな経験を通し、人と関わるなかで生きる力を育てる
- （２）こどもの心身の健やかな成長を求め、職員の質の向上を目指す
- （３）ひとりひとりの気持ちを受け止め、愛情を持って接する事で愛されていると感じられる保育を行う
- （４）こどもたちが安心して過ごせるよう、優しい気持ち、優しい言葉掛けで触れ合う
- （５）保護者との信頼関係を心掛け、保護者が安心して子育てと仕事の両立が出来る環境作りを行う

＊運営方針

- （１）待機児童、園児、保護者の事を考え計画し、横浜市の保育事業に貢献する
- （２）子育て中の保護者が子育てに自信がもてる様に支援する
- （３）子育ての相談、応援、協力をすることで、保育園としての役割を果たす
- （４）地域から愛され、頼られる存在を目指す
- （５）幸せの発信源になれるよう努力する

上記の理念や目標・方針を意識しながら取り組むことができました。

6 職員体制 4月の状況

施 設 長	1 人 （資格： 保育士 幼稚園教諭 ）
副 園 長	1 人
保 育 士	2 0 人
調 理 員 （ 栄 養 士 除 く ）	1 人
看 護 師	1 人
栄 養 士	2 人
事 務 員	1 人

1年間職員の変動はありませんでした。

7 保育・教育を提供する日 時間

開 所 日	平成23年4月1日
休 所 日	日曜日・祝祭日及び年末年始

（1）開所時間

月 曜 日 か ら 金 曜 日	午前7時00分から午後8時00分まで
土 曜 日	午前7時00分から午後6時00分まで

（2）保育標準時間認定に関する保育時間（11時間）

月 曜 日 か ら 金 曜 日 の 保 育 時 間 （ 1 1 時 間 ）	午前7時30分から午後6時30分まで
土曜日の保育時間（11時間）	午前7時00分から午後6時00分まで
延 長 保 育 時 間	朝：午前7時00分から午前7時30分まで 夕：午後6時31分から午後8時00分まで

（3）保育短時間認定に関する保育時間（8時間）

月 曜 日 か ら 金 曜 日 の 保 育 時 間 （ 8 時 間 ）	午前8時30分から午後4時30分まで
土曜日の保育時間（8時間）	午前8時30分から午後4時30分まで
延 長 保 育 時 間	朝：午前7時00分から午前8時30分まで 夕：午後4時31分から午後8時00分まで

8 提供する保育・教育の内容

- ・一人一人が健康に健やかに安全に楽しく過ごし、こども達の心を大切に受け止め職員が協力して保育を行う
- ・サッカースクールや英語教室、日本舞踊、体操教室は専門の講師に来ていただく。

日々の保育を振り返りながら次へと活かす保育を心掛け様々な記録や意見交換をしました。また、専門の講師に来ていただき指導を仰ぎこども達の健やかな成長の促しにご協力頂きました。

<クラス編成>

年 齢	クラス名	マーク	クラスカラー	花言葉
0 歳 児	すずらん		し ろ	純 粋
1 歳 児	もも		ぴんく	愛 嬌
2 歳 児	ちゅーりっぷ		あ か	思いやり
3 歳 児	すみれ		むらさき	誠 実
4 歳 児	ひまわり		きいろ	あこがれ
5 歳 児	ゆり		みどり	無 垢

<保育計画（年間）>

ク ラ ス	保 育 計 画
0 歳 児	・生活リズムを安定させ、生命の維持、情緒の安定を図る。 ・個々の発達に応じ、離乳の完了・歩行の確立・発語を促す。
1 歳 児	・保育者に援助されながら基本的な生活習慣を見に付ける。 ・豊かな遊びや経験の中で言葉のやり取りや自我の芽生えを繋げていく。
2 歳 児	・意欲を持って取り組み、自分で行おうとする姿勢を培う。 ・様々な体験や遊びを通して、自然や生き物、出来事に興味を持つ。
3 歳 児	・友達との関わりの中で自分の思いを表現し相手の思いを知ろうとする。 ・様々な活動に意欲的に参加し、のびのびと園生活を楽しむ。
4 歳 児	・集団生活における約束や、社会のルールの大切さを知り、守ろうとしながら生活する。 ・活動のイメージを膨らませ、見通しを持って取り組もうとする。
5 歳 児	・友達と協力して目標に向かって取り組み、やり遂げる達成感や充実感を味わう。 ・就学に向けて、必要な生活習慣を見に付ける。
主 な 行 事	・入園進級お祝い会・保育参観・誕生会・おやつバイキング ・七夕お楽しみ会・夏祭り・消防車見学・お月見会・運動会 ・お芋掘り・遠足・クリスマス会・餅つき・生活発表会・豆まき ・ひな祭り会・卒園式など

年間を通して「英語教室」「サッカー教室」「体操教室」「日本舞踊」の外部講師を招き行う。体操教室の1か月の実施回数を増やしました。

<一日の保育の流れ>

時間	乳児	幼児
7:00 7:30	開園 保育標準時間（11 時間）開始 順次登園 視診・問診 自由活動	開園 保育標準時間（11 時間）開始 順次登園 視診・問診 自由活動
8:30 9:00 10:50	保育短時間（8時間）開始 順次登園 朝の会 （出欠確認） おやつ 設定保育 片付け	保育短時間（8時間）開始 順次登園 朝の会 （出欠確認） 設定保育
11:00	食事（年齢によって前後します） 歯磨き・着替え	片付け 食事（年齢によって前後します）
12:00	お昼寝（年齢によって前後します）	歯磨き・着替え
12:30 14:30 15:00	目覚め おやつ（手作りおやつです）	お昼寝（年齢によって前後します） 目覚め おやつ（手作りおやつです）
15:35	帰りの会 順次降園	帰りの会 順次降園
16:30	保育短時間終了	保育時間短時間終了
18:30 20:00	保育標準時間終了 延長保育開始 おやつ・夕食 閉園	保育時間標準終了 延長保育開始 おやつ・夕食 閉園

<アレルギー対応について>

- ・横浜市が策定する「保育所における食物アレルギー対応マニュアル」に基づく。
- ・生活管理指導表の提出による、除去食の提供。
- ・アレルギー除去食メニュー表の作成。

マニュアル等に基づき安全に対応し誤食などはありませんでした。

<給食の提供にあたって>

- ・給食試食会の実施（年1回）
- ・行事食・お誕生会メニューの実施（月1回）
- ・国産食材中心の食材選び・旬を取り入れ、多様な食材を使用する献立作成
- ・0歳児は初期・中期・後期の3種類の献立表を作成と開始時の面談実施
- ・献立表メニューの提供
- ・給食日誌と検食の実施
- ・給食会議の実施と、献立作りへの反映
- ・1歳児以上、各クラスにて月1回食育活動を実施
- ・衛生管理の徹底
- ・身体測定による健康管理

予定通りに進めることができました。

9 感染症対策

感染症または食中毒が発生、またはまん延しないように、国の「保育所における感染対策ガイドライン」及び横浜市園医の手引きに則り、感染症及び食中毒の予防のための衛生管理を、適切に実施します。

- 保健だより等での情報提供、予防呼びかけ
- 来園者用手指消毒液の設置
- 職員の手指消毒の徹底
- メールサービスや掲示による情報提供、注意の呼びかけ

換気や消毒、体調不良の子どもの早期発見のため、体調不良を言えない乳児では園での検温を定期的におこなう。

こまめな検温や体調観察で早めの対応や室内消毒・職員の手指消毒・玩具等の消毒頻度を増やすなど看護師中心に実施。感染症の拡大防止に努めることが出来ました。

10 障害児保育について

専門機関・保護者との連携をとり、望ましい集団活動、個別の活動を通して、必要な援助を行い、個の発達を促していく。

保護者や機関との連携を取りながら過ごしやすい環境の提供など職員全員で考え対応することができました。

1.1 園児健康診断について

園児健康診断	全園児	年2回	視聴覚検診	3歳児	年1回
歯科健診	全園児	年2回			
尿検査	3歳児・4歳児・5歳児	年1回			

1.2 職員健康診断について

年に一度受診義務

1.3 嘱託医 以下の医療機関（小児科）と嘱託医契約を締結しています。

医療機関の名称	すこやかこどもクリニック
医院長名	井上 隆志
所在地	横浜市瀬谷区三ツ境 1-5 ヒルトップ壱番館 2階
電話番号	045-362-7778

1.4 嘱託歯科医 以下の歯科医と嘱託歯科医契約を締結しています。

医療機関の名称	しもぬる歯科クリニック
医院長名	下温湯 浩一
所在地	横浜市旭区中希望が丘 233-8
電話番号	045-362-1184

各健診も滞りなく行う事ができました。

1 5 地域防災拠点、広域避難場所

いっとき避難場所	出刈場公園
地域防災拠点	希望ヶ丘小学校
広域避難場所	二俣川自動車学校

1 6 非常災害時の対策

非常災害に関する具体的な計画を立て、防火管理者を定めている。

非常災害時の関係機関への通報及び連携体制を整備し、それらを定期的に職員に周知するとともに毎月1回以上避難及び消火、救出その他必要な訓練を実施する

防火管理者	平松 珠子 須崎 礼子
消防計画届出年月日	消防署 平成23年 4月 1日
避難訓練・消防訓練	地震・火事・竜巻・不審者を想定し避難訓練を月に1回実施 (通報訓練、初期消火訓練、けが人救護を含む) 初期消火、避難を想定し、消防訓練を月に1回実施
防災設備	消火器、誘導灯、火災報知器、備蓄品など

1 7 連携施設（近隣の当法人施設）

連携施設の種類	認可保育所
名称	つばみ保育園
所在地	旭区東希望が丘188-1(地番)
連携協力の概要	保育内容の支援など

1 8 地域の育児支援について

- ・一時保育の実施
- ・地域交流
- ・育児相談
- ・栄養相談
- ・絵本貸し出し

1 9 職員研修

- ・キャリアアップ研修
- ・知意識の向上の為の研修
- ・園内研修を行い、職員の保育の質の向上をしていきます

外部研修の参加やキャリアアップの新規取得を行いました。

2 0 会議計画

全体ミーティング	毎月	職員全員が集まって行う
金曜ミーティング	毎週金曜日 13時から	園長 主任 福主任 各担任 栄養士 看護師が参加
5分ミーティング	毎日 15時45分から	園長 主任 副主任 各担任 栄養士 看護師が参加
役職会議	毎週（水か木）	園長 主任 副主任が参加

リーダー会議

毎月不定期

各クラスリーダー 副主任が参加

計画通り実施されました

20 職員の育成

- ・専門職としてのスキルアップを図るために研修等の参加をし、こどもの成長を助長し保護者の支援をおこなえる保育者及び関係職種を育てていく。
- ・各役職・係り・リーダー等の役割の理解を深め、組織の一員として全職員が自信をもって行動できる力を付けていく。

研修や話し合い等を通し一人一人の認識を高め取り組むことが出来ました。

21 SDGs の取り組み

- ・園内で出来ることや、日常で職員ひとり一人が心がけることを起点に、こども達とできることや意味理解を進めていく。

食育を通して食べ物の大切さを伝えることができました。来年度は他の取り組みについてもこども達と考えていきたいと思っています。

22 危機管理

- ・マニュアルの見直しを年2回行い、安全な保育が遂行されるようにしていく。
- ・災害時対応・火災時の避難方法・不審者対策訓練・園外保育中の緊急対応・園バス利用時対応のマニュアルや職員研修・訓練を行う。

マニュアルの共有や訓練等を実施。職員の意識を高められたと感じていますが更に危機管理を意識した取り組みをしていきたいです。

23 実習生・ボランティア・職業体験の受け入れ

- ・要望に応じて積極的に受け入れを行う

中学性・高校生のボランティアを積極的に受け入れました。

24 地域福祉計画

- ・地域の自治会に加入し、地域コミュニティの活性化や街づくりをしていく。
- ・地域の方との交流を持つ機会を作り、一緒に過ごしていく。
- ・災害時には町内会と協力体制を図ることを確認し、準備をしていく。

自治会に加入し地域の方との関りを増やしました。

25 連絡帳アプリの導入

- ・保護者の負担軽減のために運営委員の了承を得て連絡帳アプリを導入。今後の状況を見ていく。

引き続き利用していきます。

26 開園15周年に向けての取り組み

- ・来年度の開園15周年に向けてお祝い行事やその他、園としてのスキルアップを目指し職員や運営委員と計画立てから実行に向けて話し合いをしていく。

特別な行事の計画を行い実行に向けて進めています。